



学校活動中の万が一に備え山田中学校に配備されたAED
(平成20年度ですべての小中学校に配備されます)



鈴木善十郎議員

救命救急

小中学校にAED配備を

20年度中に全校配備

質問 私は12月議会で、まだ配備されていない小学校へのAEDの配備を強く要望したところである。このことは児童や教職員の命を守ることでなく、その学区に住んでいる住民の命を守ることを考える。学校だけの配備にこだわらず、各施設にも配備し、その地域の方にAEDの使い方講

習会を開いて、1人でも多くの命を救うべきと考えるがどうか。
沼崎町長 最近、突然の心臓発作から命を救うAEDの学校施設などへの設置が新聞にも報道されているが、AEDを設置するには多額の費用がかかることから、一度に何箇所も設置することは厳しい状況である。

町の考えを聞く

福祉行政

マタニティカードの配布

広域的な取り組みが必要

現在、本町では中央公民館と役場に設置しているが、19年度は中学校2校、小学校3校に設置し20年度で全

学校に設置する計画であり、職員や住民を対象としたAEDの操作講習会も実施しているところである。
学校以外の公共施設にAEDの設置は必要と思われるが、設置する場合、施設の規模や利用頻度、費用、優先順位の問題もあるので検討していきたい。

質問 香川県丸亀市では、妊婦さんに優しい環境づくりの一環として、去年11月から市内各施設の車イス用駐車場を妊娠中のドライバーも利用できる取り組みを開始しているようである。対象は市内在住で妊娠7カ月以上の妊婦さんで、配布されたマタニティカードを車内のダッシュボードなど外部から見える場所に表示すれば、車イス用駐車場を使用できるようになっている。山田町も車イス用駐車

場がある町内各店舗などに提携協力してもらい、早期にマタニティカードを配布するべきだと思いがどうか。
沼崎町長 車イスマークの駐車スペースを妊産婦への活用となれば、施設設置者の理解と協力はもとより、妊産婦の確認方法や他市町村から来町の妊産婦の取り扱いなどの課題があり、広域的な取り組みが必要と考える。県や沿岸市町村の動向も見していきたい。